

総合的な学習の時間の全体計画

学校教育目標
やさしく、たくましい子どもの育成

児童の実態

- 発表する意欲は高いが発表内容をまとめて話したり、自分の考えを話したりすることが苦手である。
- 決められたことはきちんとするが自ら判断し考えようとするのは少ない。
- 生命を尊重する心、他人を思いやる心、美しい物に感動する心をもっているが、外部からのゆさぶりがないとそれが見いだされない。

保護者の願い

- 基本的な生活習慣が身に付いた子ども
- 運動が好きで、健康や安全に気をつける子ども
- 楽しく学校に通う子ども
- あいさつをしっかりする子ども
- 素直な心を持つ子ども
- 基礎学力が身に付いた子ども

教師の願い

- 基礎、基本を習得し、自ら学ぶ意欲を高める子ども
- 進んでよい人間関係づくりに取り組む子ども
- 強い心と体でがんばりぬく子ども

各教科

- ・各教科の内容及び教材で、総合と関連的な指導が図れるものは積極的に活用する。
- ・総合的な学習の時間で培われた能力を教科学習に生かすよう総合化を図る。

指導方法

- ・課題把握の時間を十分とり、自ら課題をもって問題解決にあたらうとする学習展開を仕組む。
- ・地域の特色を生かした体験活動を重視した学習展開を図る

地域との連携

- ・地域の特色を生かした学習を展開し、地域の人材をゲストティーチャーに招いたり、直接インタビューしたりする中で、地域を愛する子どもを育てる。

めざす児童像

- ◇ 進んで学ぶ子ども<よく学ぶ>
- ◇ 明るく元気な子ども<よく遊ぶ>
- ◇ 仲良く協力する子ども<明るく、仲良く>
- ◇ 安全に気を付け、よく働き、責任を持つ子ども<自己責任>

総合的な学習の時間の目標

- ◎ 横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

総合的な学習の時間におけるめざす子ども像

- <中学年>
- 進んで課題を追求しながら、自分の良さを発揮し、互いに認め合う子ども
- <高学年>
- 主体的に課題を追求しながら学んだことを自分の生活に生かす子ども

総合的な学習の時間における基本的な考え

- 子どもにとって興味・関心のある課題が生み出され、広がっていく学習の展開を図る。
- 学び方を学んでいく学習展開を図る。
- 各教科等で学んだことの有用性を実感し、学び方やものの考え方を確かにしていく。

総合的な学習の時間で育てたい資質・能力

	中学年	高学年
主体性	自分なりの課題をもち、進んで調べ課題を解決していこうとする	自分で課題を持ち、学習計画を立てて、積極的に調べることができ、課題を解決していこうとする。
創造性	体験を通して自分なりの考えをもち、その考えを自分の学習に生かそうとする。	学習計画にそって自分の体験したことを自分の視点で取り入れ、よりよく生活に生かそうとする。
表現力	自分の思ったことや考えたことを表し、相手によく伝えることができる。	自分の思ったことや考えを相手に理解できるように表し、伝えることができる。
協力的性	同じ課題の友達と協力して解決する。	異なる意見や友達の見解を受け入れ、課題を解決する。
情報活用能力	課題を解決するために必要な情報や資料を進んで取り入れ活用することができる。	自分の課題にそった情報や資料を取捨選択して取り入れ、工夫して活用することができる。

本校の課題

- 門司港を中心とした地域理解に関すること
- 自文化理解も含む国際理解に関すること
- 福祉教育に関すること
- 学校図書館の積極的な活用
- ICT活用能力を高めるパソコン学習

関係法規等

- 憲法 教育基本法 学校教育法など
- ◎北九州市 指導の重点 「一人一人に『生きる力』をはぐくむ学校教育の創造」 ～心の育ちの推進～

時代の要請

- 生きる力の育成。
- 特色ある開かれた学校づくり。
- 国際化・情報化への対応。

学習指導要領

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着やこれらを活用する学習活動は、教科で行うことを前提とする。
- 教育課程における位置付けを明確にし、各学校における指導の充実を図るため、総則から取り出し新たに章立てされた。

道徳

- ・総合的な学習の時間における体験的な活動を通して、道徳の時間に学んだことを生かしたり、体験したことをもとに道徳の時間で発展させたりする。

特別活動

- ・自発的、自治的な活動を通じて、互いに協力し、助け合う子どもの育成に努める。

外国語活動

- ・外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

他の教育活動

- ・区役所や地域のイベントと連携し、総合的な学習の時間に学習した内容の発表機会を多くもつようにする。

学校間の連携

- ・小中連携の中で小学校や中学校との情報交換を行うことにより、総合的な学習の時間に関して連携したカリキュラムの作成を目指すようにする。